

「学び」を極める人を育てる六本木の大学院



東洋英和女学院大学大学院

THE GRADUATE SCHOOL OF TOYO EIWA UNIVERSITY



GUIDE 2027

人間科学研究科

国際協力研究科

男女共学



東洋英和女学院大学
学 長
藁谷 友紀

ごあいさつ

国際公務員として活躍する日本人の数の少なさが指摘されています。日本人の希望者が少ないわけではありません。大きな理由は、日本人の修士号学位取得者数の少なさにあります。国際公務員として重要な職務に就くためには、修士号取得者であることが求められています。多くの日本人はその条件を満たしていません。

国際社会においては、一般の求職活動の際に、領域を問わず修士号取得者であることが求められるのは珍しいことではありません。欧米では、博士号を取得している実務家も珍しくありません。それぞれの領域で求められる専門性が一層高くなっています。

幼児教育・発達臨床学と臨床心理学両領域では、時代や社会の変化の最前線である現場に正面から向かい合うためのより高い専門性が求められています。猶予が許されません。親子の関わりが大きく変化する中で、対人関係のあり方が大いに変わる中で、「臨床」と「実践」の重要性は増しています。変化と変わらぬ普遍性をともに大切にする人間科学研究科の総合性は、人間科学専攻の各領域が強く共有するものです。

日本の「国際スタンダード離れ」が問題になり、高度な「実践性」習得が喫緊の課題として突きつけられる中、日本においても「キャッチアップ」のスピードが加速しています。高度職業人養成を目指す制度改革の動きはその現れの一つです。

私たち、東洋英和の大学院は、他に先駆けて「社会人が学ぶ／学びやすい大学院の環境づくり」を進めてきました。学部から直接進学するストレートマスターの院生も含めて、現場と社会が求める高度な専門的知識・見識を有し、領域を牽引するエキスパートを育てることが目指すところです。実践に根差し、実際の要請に応える人材の養成です。その中から育った研究者も、新しい時代の新しい課題に向き合う、新しい時代を切り拓く研究者として注目されています。

新しい社会の担い手として意欲に満ちたみなさんの入学を心よりお待ちしております。

人間科学専攻

- 死生学領域
- 幼児教育・発達臨床学領域
- 臨床心理学領域

国際協力専攻

※2027年度前期より人間科学領域を死生学領域に改編します。
 ※2027年度前期より博士後期課程は募集を停止します。

カリキュラムポリシー

●人間科学研究科

本研究科は、人間を理解し、支援・援助することに関わる多様な分野を対象とした人間科学領域を考究します。現代社会に求められる卓越した見識と高度な実践能力とを養成します。さらに、広い視野と異質なものの理解、多面的・総合的な思考力と共感的理解および批判的判断力を形成し、人間の尊厳を守り、well-beingを促進する態度を育てることで、調和ある共存に貢献できる高度な専門能力を持つ人材の育成を目的とします。

上記の目的を達成するために、人間科学研究科は、修士課程として、人間科学専攻「死生学領域」、「幼児教育・発達臨床学領域」および「臨床心理学領域」を教育課程として設置しています。

【修士課程】人間科学専攻

○死生学領域

多様かつ実践性にとんだ教育体系のもと、学生の自発的な研究活動を支援し、現場での実践経験と理論を融合するカリキュラムを提供します。現代の人々のライフステージの多様さを支援するため、より高い専門知識と実践能力(技術)を養成しつつ、総合的・学際的研究をすすめています。

提供するカリキュラムの構成は以下の通りです。

1. 人間科学研究科として共通科目としての「人間科学研究法基礎論」
2. 日本とアジアの歴史と文化のなかにおける宗教と精神性について多角的な視点を得ることにより、死生学の背景について理解するための科目群。
3. 現代社会における精神医学、看護学、生命倫理学の展開を踏まえて、死生学の現代的な展開について理解するための科目群。
4. 臨床現場における死生学の実際の応用と課題を、グリーフケア、スピリチュアルケアに即して理解するための科目群。

○幼児教育・発達臨床学領域

本学の幼児教育学・教育学の伝統を継承し、時代や社会の変化においても普遍的な「子どもに仕える」ことの意味を探求すると共に、新たな時代を見据えた幼児教育学と、親子の関わりや発達に問題を抱える子どもの理解や親子支援の在り方を探求する発達臨床心理学分野のカリキュラムを整えています。

提供するカリキュラムの構成は以下の通りです。

1. 人間科学研究科として共通科目としての「人間科学研究法基礎論」
2. 保育・幼児教育の歴史や思想、現代的動向を捉えつつ、本学院の理念である「敬神奉仕」の精神を具現化する保育・教育実践の在り方の探求するための科目群
3. 様々なニーズを持つ子どもの成長発達や発達的な問題・障害の理解と支援に関する学びを深めるための科目群

○臨床心理学領域

人間の尊厳を尊重する人間観を基盤として、「こころの専門家」たる公認心理師及び臨床心理士として対人援助を行うため、臨床実習を重視したカリキュラムの下、高度な専門的知識に基づく深い共感性を有する援助実践力の獲得をめざしています。

提供するカリキュラムの構成は以下の通りです。

1. 心理的アセスメント：心理に関する支援を必要とする人の心理状態を観察し、その結果を分析する力を育成する科目群
2. 心理的支援：心理に関する相談に応じ、助言や指導、その他の必要な援助する力を育成する科目群
3. 連携と地域援助：支援を必要とする人の関係者に対しても、相談に応じ、助言や指導、その他の必要な援助する力を育成する科目群
4. 社会への貢献：心の健康に関して研究し、その知識を広めるための教育や情報提供する力を育成する科目群

●国際協力研究科

- ・多様化・複雑化する国際社会の課題解決に貢献し、学術的分析と実践的判断の双方を行える人材を養成するため、「サステイナブル国際協力コース」と「国際政治経済・地域研究コース」を設けます。
- ・両コース共通として、研究手法、サステイナビリティ、法律、政治、経済を網羅的に学ぶ基礎共通科目群を配置し、修士論文または特定の課題についての研究成果を執筆する演習を通じて研究能力を養います。
- ・サステイナブル国際協力コースでは、人類が直面する課題の理解を深めるために防災、公衆衛生、教育、貧困、環境等の選択科目を履修します。
- ・国際政治経済・地域研究コースでは、地域の歴史・文化・現地情勢を踏まえ、国際課題を的確に理解するために世界各地の地域研究科目を履修します。

ディプロマポリシー

●人間科学研究科

- ①人間科学の領域における幅広い学識を有し、それを専門領域において実践、応用することのできる柔軟な研究力を修得する。
- ②現代社会のさまざまな課題をふまえた人間理解に基づき、現代人の複雑化する生活の多様な局面において支援・援助にふみだすための共感的な実践力を修得する。
- ③研究と実践の相互媒介性のなかで、自己を含む多様な人間の現状を内省したうえで、その潜在的な可能性について深く広い視野で展望する洞察力を修得する。

これら3つの視点から、人間科学についての基礎学力と応用能力を獲得しているとみなされる場合に修士号(人間科学)が授与されます。

修士認定については、人間科学研究科では、修士論文又は特定の課題についての研究成果を審査委員が審査し、審査委員による最終試験を行い、研究科委員会で学位を授与することの可否を決議します。修士号を授与された論文は製本されて本学大学院図書室に保管され一般の閲覧に供します。

●国際協力研究科

- ・国際協力を軸として国際社会に生起する課題を、学術的に調査・分析し、包括的視点で課題の背景を説明できるようになります。
- ・上記の理解を運用し、地域社会、国際機関、行政や民間組織などの場で、国際協力を構想し、実践できるようになります。
- ・国際協力研究科が定める課程を履修し、修士論文または特定の課題についての研究成果を提出し審査に合格した学生に、修士の学位を授与します。

死生学領域では、精神医学、生命倫理学、宗教学を基盤に死生観、ターミナルケア、グリーフケア、スピリチュアリティに関わる研究教育活動を死生学研究所と共に行っています。

本分野は1993年の大学院開設以来、徐々に拡充され、今日までにすでに200人以上の修士生を輩出しています。修士生は全国各地で死生学関連の研究・教育・実践活動に従事しています。

上智大学との単位互換制度

2020年4月より、上智大学実践宗教学研究科死生学専攻修士課程とのあいだで単位互換制度を開始しました。本大学院修士課程死生学領域の大学院生は、上智大学実践宗教学研究科死生学専攻修士課程の授業を各年度に2科目4単位まで履修でき、修得した単位は修了に必要な単位として認定されます(他の大学院で修得した単位を含めて10単位を上限として認定します)。

今後、少子・超高齢化が進み、高齢者における死との関わり方がいっそう重要な問題となっていくことが予想されます。また国内外におけるパンデミック、戦争、各種の災害等がもたらす死の認識も大きな課題であり続けます。

国内では、現在、いくつかの大学で死生学関連の講座、研究機関が開設され同様の研究教育実践活動が行われるようになってきています。本学もそれらの研究教育機関との連携をいっそう深めていく予定です。

首都圏宗教単位互換協定

本大学院は、首都圏宗教単位互換協定を6大学(國學院大學、駒澤大学、聖心女子大学、創価大学、大正大学、立教大学)の大学院と締結しています。

この協定により、修士課程死生学領域の学生は、協定先より提供された科目を履修でき、修得した単位は修了に必要な単位として認定されます(他の大学院で修得した単位を含めて10単位を上限として認定します)。

教員プロフィール

人間科学研究科長



奥山 倫明 教授
(博士(文学))

- 専門分野: 宗教学、宗教史学、宗教社会学
- 研究テーマ: 近代宗教研究、日本宗教学
- 指導可能テーマ: 宗教的死生観の研究、スピリチュアリティ研究
- 担当科目: 宗教学特論、人間科学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、人間科学演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会: 日本宗教学会、「宗教と社会」学会

未曾有のコロナ禍があり、戦争・紛争があり、国際関係の激変に見舞われるなか、人類はまた自然災害や環境破壊にも直面しつつ、喫緊の対応を迫られています。

21世紀の中盤に差し掛かる今、私たちは、社会のなか、世界のなか、地球環境のなかの人間の在り方を見つめなおしながら、改めて未来に向けて踏みだしていく力を奮い立たせていくことが求められています。

本研究科では多角的な視点から人間理解を深める人間科学を推進し、多様な現場での実践活動に応用可能な専門性を涵養することを目的としています。そうした教育研究の蓄積を通じて、人間科学の学的営為を社会に還元する専門家を育成します。



田中 智彦 教授
(修士(政治学))

- 専門分野: 哲学、倫理学、思想史
- 研究テーマ: メタバイオエシックス、特に生命をめぐる倫理・政治・科学技術の思想史
- 指導可能なテーマ: 医学・医療・生命科学技術の倫理的問題について、バイオエシックス(生命倫理)の思想と歴史について、近現代の人間観・死生観の来歴と課題について
- 担当科目: 死生学特論、生命倫理特論、死生学概説、バイオ・サナトロジー特殊研究、人間科学基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会: 日本生命倫理学会、日本倫理学会、日本政治思想学会



穴倉 久里江 准教授
(博士(医学))

- 専門分野: 精神医学、精神保健福祉全般
- 研究テーマ: 個人と社会のウェルビーイングの実現を目的とした、認知行動療法(主に曝露反応妨害法)の理論と手法に基づく健康教育プログラムの開発及び普及啓発
- 担当科目: 精神保健福祉学特論
- 主な所属学会: 日本精神神経学会、日本臨床死生学会、日本生命倫理学会、ウェルビーイング学会、日本産業精神保健学会



石丸 昌彦 客員教授
(博士(医学))

- 専門分野: 精神医学、精神保健学、臨床死生学
- 研究テーマ: スピリチュアリティが健康に及ぼす影響、死生観と人間の成長・発達
- 担当科目: 精神医学における生と死
- 主な所属学会: 日本精神神経学会、日本臨床死生学会

区分	授業科目の名称	単位数		配当年次		間期	授業方法	2027年度		2028年度	
		必修	選択	1年	2年			前期	後期	前期	後期
人間科学専攻	人間科学研究法基礎論		2	○	○	半期	講義	●		●	
	宗教学特論		2	○	○	半期	講義				●
	現代スピリチュアリティ特論		2	○	○	半期	講義		●		
	日本宗教史特論		2	○	○	半期	講義			●	
	宗教社会学特論		2	○	○	半期	講義	●			
	日本の死生観		2	○	○	半期	講義		●		
	アジアの死生観		2	○	○	半期	講義				●
	死生学特論		2	○	○	半期	講義	●			
	生命倫理特論		2	○	○	半期	講義		●		
	死生学概論		2	○	○	半期	講義	●		●	
	グリーフケア論		2	○	○	半期	講義	●			
	ターミナルケア論		2	○	○	半期	講義			●	
	精神医学における生と死		2	○	○	半期	講義				●
	看護学における生と死		2	○	○	半期	講義	●			
	精神保健福祉学特論		2	○	○	半期	講義		●		
	人間科学基礎演習Ⅰ(修士論文指導)	2		○		半期	演習	●	●	●	●
	人間科学基礎演習Ⅱ(修士論文指導)	2		○		半期	演習	●	●	●	●
	人間科学演習Ⅰ(修士論文指導)	2			○	半期	演習	●	●	●	●
	人間科学演習Ⅱ(修士論文指導)	2			○	半期	演習	●	●	●	●

死生学領域(修士論文又は研究成果を提出する場合)

死生学領域の科目から必修4科目(8単位)を含む合計30単位以上。他領域又は他研究科の演習・実習以外の科目合計8単位まで修了に必要な単位に算入可能

本領域は、東洋英和のキリスト教精神を基盤とする「幼児教育の理論と実践研究」、および現代的問題としての「子どもの発達臨床的問題の探求」の二本柱から構成されています。

本学院の理念である「敬神奉仕」の精神を具現化する保育・幼児教育の在り方を探求する学びと共に、保育・幼児教育の動向を捉えつつ、様々なニーズを持つ子どもの成長発達や発達のな問題・障害の理解と支援に関する学びを深める多様なカリキュラムが用意されています。そして、子どもの保育、教育、発達支援に求められている専門性を備え、子どもの幸せに貢献できる人材を養成することを目的としています。また、他領域

に幅広く開講されている科目を履修する課程においては、ほかの分野で学ぶ社会人学生との交流も生じ、自身の視野の広がりや研究テーマが深まる契機ともなります。

本領域は、幼稚園教諭1種免許を取得していなくても入学することができます。幼稚園教諭や保育士等に加え、多方面で活躍している方が在学しています。保育者、発達支援の専門職、表現療法の実践者だけでなく一般企業で働く方々にも研究の場となることを期待しております。なお、本領域は幼稚園教諭専修免許課程が開設されており、幼稚園1種免許取得者は幼稚園教諭専修免許状の取得が可能となります。

教員プロフィール



久保田 まり 教授
(博士(文学))

- 専門分野: 発達心理学
- 研究テーマ: 愛着対象の生涯における機能、愛着の障害、社会的養護と愛着の問題
- 指導可能なテーマ:
 - ・生涯発達における研究
 - ・親子関係(母子関係)に関する研究
 - ・発達支援に関する研究
- 担当科目: 発達臨床学特論、乳幼児発達心理学特論、思春期・青年期発達心理学特論、発達心理学研究法、幼教・発達学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、幼教・発達学演習Ⅰ・Ⅱ、発達心理学研究(D)、特殊研究(D)
- 主な所属学会: 日本心理学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本子ども虐待防止学会、日本乳幼児医学・心理学会



西 洋子 教授
(博士(学術))

- 専門分野: 表現の教育、身体表現論、ノンバーバルコミュニケーション論
- 研究テーマ:
 - ・子どもの表現とコミュニケーション
 - ・感性や創造性の発達と表現支援
 - ・共創表現のファシリテーション
- 指導可能なテーマ:
 - ・乳幼児期の表現とコミュニケーション
 - ・プロジェクト型の幼児教育・保育の内容と方法
 - ・保育現場での子ども、保育者、保護者のコミュニケーション
 - ・インクルージブアートと社会実践
- 担当科目: 表現教育特論、表現文化フィールド研究、保育内容特論(オムニバス)、幼教・発達学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、幼教・発達学演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会: 日本保育学会、共創学会、舞踊学会



塩崎 美穂 教授
(修士(教育学))

- 専門分野: 教育学、保育思想史、比較文化論
- 研究テーマ:
 - ・保育の公共性
 - ・実践者の倫理をかたちづくる保育の歴史文化的研究
 - ・比較文化論からみた保育・幼児教育の思想的変遷
- 指導可能なテーマ:
 - ・保育思想研究
 - ・比較文化的な視点をもった保育・幼児教育研究
 - ・保育の実践と理論をつなぐ研究
- 担当科目: 幼児教育特論Ⅱ、保育内容特論(オムニバス)、幼教・発達学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、幼教・発達学演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会: 日本保育学会、日本教育学会、幼児教育史学会



区分	授業科目の名称	単位数		配当年次		期間	授業方法	2027年度		2028年度	
		必修	選択	1年	2年			前期	後期	前期	後期
幼児教育・発達臨床学領域	発達臨床学特論		2	○	○	半期	講義				●
	乳幼児発達心理学特論		2	○	○	半期	講義	●			
	思春期・青年期発達心理学特論		2	○	○	半期	講義			●	
	発達心理学研究法		2	○	○	半期	講義		●		
	障害児療育特論		2	○	○	半期	講義		●		
	障害児保育特論		2	○	○	半期	講義				●
	児童福祉特論		2	○	○	半期	講義		●		
	幼児教育特論Ⅰ		2	○	○	半期	講義	●			
	幼児教育特論Ⅱ		2	○	○	半期	講義				●
	キリスト教幼児教育特論		2	○	○	半期	講義				●
	カウンセリング特論		2	○	○	半期	講義	●			
	情報教育特論		2	○	○	半期	講義			●	
	表現教育特論		2	○	○	半期	講義		●		
	表現文化フィールド研究		2	○	○	半期	講義				●
	教育史特論		2	○	○	半期	講義		●		
	教育思想史特論		2	○	○	半期	講義	●			
	教育哲学特論		2	○	○	半期	講義		●		
	保育内容特論		2	○	○	半期	講義			●	
	幼教・発達学基礎演習Ⅰ(修士論文指導)	2		○		半期	演習	●	●	●	●
	幼教・発達学基礎演習Ⅱ(修士論文指導)	2		○		半期	演習	●	●	●	●
幼教・発達学演習Ⅰ(修士論文指導)	2			○	半期	演習	●	●	●	●	
幼教・発達学演習Ⅱ(修士論文指導)	2			○	半期	演習	●	●	●	●	

幼児教育・発達臨床学領域(修士論文又は研究成果を提出する場合)

幼児教育・発達臨床学領域の科目から必修4科目(8単位)を含む合計30単位以上。幼稚園教諭専修免許資格を目指す人は免許に必要な課程科目の要件を満たすこと。他領域又は他研究科の演習・実習以外の科目合計10単位まで修了に必要な単位に算入可能

幼稚園教諭専修免許課程科目

区分	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業方法	備考
				必修	選択		
幼稚園教諭専修免許課程科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	表現教育特論	1・2		2	講義	このうちより24単位選択必修
		保育内容特論	1・2		2	〃	
		情報教育特論	1・2		2	〃	
	大学の独自に設定する科目	現代社会と教育	1・2		2	〃	
		教育思想史特論	1・2		2	〃	
		教育哲学特論	1・2		2	〃	
		教育史特論	1・2		2	〃	
		幼児教育特論Ⅰ	1・2		2	〃	
		幼児教育特論Ⅱ	1・2		2	〃	
		キリスト教幼児教育特論	1・2		2	〃	
		表現文化フィールド研究	1・2		2	〃	
		乳幼児発達心理学特論	1・2		2	〃	
		障害児保育特論	1・2		2	〃	
	発達臨床学特論	1・2		2	〃		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	カウンセリング特論	1・2		2	〃	
合計					30		

臨床心理学領域は、心理学的な対人援助に関する教育・研究を行います。公認心理師・臨床心理士資格を持つ教員7名で、臨床心理学の教育と研究に取り組んでいます。本領域で所定の資格課程科目を修得することによって、国家資格「**公認心理師**」および「**臨床心理士**」資格試験の受験資格を得ることができます。これは、高度専門職業人の育成という本研究科の目的を具体化するものです。授業は、平日の夜間と土曜日の他に、

一部は平日（木曜）昼間に行っています。医療機関等での学外実習も平日の昼間に行います。

※(財)日本臨床心理士資格認定協会による第1種大学院の指定を受けています。公認心理師受験資格取得には、大学院入学前に四年制大学等で公認心理師法に定める指定科目の単位修得が必要です。

臨床心理学領域における教育と研究の特色

- (1) 本領域の在籍生は、公認心理師・臨床心理士になるために、2年間でカウンセリングと心理アセスメントの理論と実践を体系的に学んでいきます。実践を深めていくための学びとして、カウンセリングに関しては、ユング心理学や精神分析学に基づく心理療法、来談者中心療法、プレイセラピー、箱庭療法、またイメージ・夢・絵画を通じた援助について、それぞれ臨床実践経験の豊かな講師陣が充実した教育内容を展開しています。また心理アセスメントについては、ロールシャッハ法やWAISなどの研修機会を提供しています。援助の対象としては、子どもから高齢者まで、広範囲をカバーしています。医療臨床・教育臨床・福祉臨床・産業臨床などでの心理実践等を目指した臨床教育・訓練を充実させています。
- (2) 附属の心理相談室での心理臨床活動が義務づけられており、各自が継続面接のケースを担当するように指導されます。来談者が多く、実習教育のための『心理相談室紀要』を編集・刊行しています。学生も事例研究論文を投稿することができます。
- (3) 毎週木曜日には、15:20から20:00まで必修の授業を行っています。特にカンファレンスには修士課程のすべての学生参加が義務づけられており、積極的なディスカッションが行われています。
- (4) 平日の昼間を利用した学外実習機関（大学病院・総合病院・精神科クリニック・教育相談センター・児童養護施設など）で修士2年間を通して3カ所以上の実習機関で心理実践実習を行います。実習費として、年間50,000円を徴収し、実習の充実を図っています。
- (5) 学生の自主的な研究活動を奨励しており、教員の援助を得て、それぞれ活動しています。本学院生と修了生、さらには他大学院生や専門家及び関連職種との交流と研鑽を目的に研修会や講演会を開催しています。
- (6) 外部講師による講演会や本学教員による「公開講座」を開催しています。また、学術大会や各種研修会・研究会、シンポジウムを本学教員が中心となって開催しています。これらの企画を運営する中で、学内外の大学院生や専門職および関連職種との交流と研鑽の機会を持てるよう積極的に取り組んでいます。
- (7) 修了生の進路としては、教育相談センター、スクールカウンセラー、大学学生相談室などの教育領域、精神科クリニックや病院などの医療領域、企業のメンタルヘルス部門などの産業領域、児童相談所、乳児院など福祉領域等、多岐にわたっています。地域の私設心理相談機関や国家公務員の心理職として活躍している修了生もいます。
- (8) 臨床心理学領域は、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして、2023（令和5）年度の「職業実践力育成プログラム（BP）」に文部科学省から再認定されました。



福田 周 教授
(教育学修士)

- 専門分野: 臨床心理学
- 研究テーマ:
(1) 描画療法・夢分析に関する治療のプロセスおよび数量的研究。
(2) 青年期・成人期前期における対人関係および心の様相に関する研究。
(3) 病院臨床、特に精神病圏・発達障害圏における心理療法プロセスおよび臨床心理学的地域援助。
- 指導可能なテーマ: 病院臨床、発達障害、芸術療法、夢分析、個人心理療法、臨床心理学における数量的研究等
- 担当科目: 臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理基礎実習、臨床心理実習、心理実践実習、臨床心理査定演習Ⅱ
- 主な所属学会: 日本心理臨床学会、日本箱庭療法学会、日本ユング心理学会、日本芸術療法学会、日本描画テスト・描画療法学会、日本発達心理学会、日本パーソナリティ心理学会



篠原 道夫 教授
(修士(教育学))

- 専門分野: 臨床心理学
- 研究テーマ: (1) 箱庭療法の臨床過程についての研究、(2) 神話的イメージについてのユング心理学的研究、(3) 精神分析的発達理論とそのプレイセラピーへの応用の研究
- 指導可能なテーマ: ユング心理学、箱庭療法、遊戯療法、描画療法、精神分析学、分離個体化、対象恒常性、思春期/青年期の病理、教育相談、分離不安、不登校、場面緘黙、チック、吃音、被虐待、ひきこもり、親の支援
- 担当科目: 臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理基礎実習、臨床心理実習、心理実践実習、教育分野に関する理論と支援の展開、心の健康教育に関する理論と実践
- 主な所属学会: 日本箱庭療法学会、日本ユング心理学会、日本心理臨床学会、国際箱庭療法学会 (ISST)



富田 悠生 准教授
(博士(心理学))

- 専門分野: 精神分析、臨床心理学
- 研究テーマ: 精神分析、精神分析的心理療法
- 指導可能なテーマ:
・個人心理療法の治療過程、治療効果、治療作用
・不安症、強迫症、スキゾイドやパラノイド、ナルシシズムなどのパーソナリティ症、神経発達症など心理療法の対象となる精神疾患
・様々なパーソナリティ傾向
・精神科臨床や個人オフィスでの臨床実践
・心理療法家の成長過程
- 担当科目: 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)、臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ(修士論文指導)、心理実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、臨床心理実習Ⅰ
- 主な所属学会: 日本精神分析学会、日本心理臨床学会



井上 真由美 講師
(修士(臨床心理学))

- 専門分野: 臨床心理学
- 研究テーマ: イメージの心理療法(夢・箱庭療法・描画療法等)
- 指導可能なテーマ: 研究指導は担当致しません。
- 担当科目: 心理実践実習、臨床心理基礎実習、臨床心理実習
- 主な所属学会: 日本箱庭療法学会、日本ユング心理学会



川村 啓輔 講師
(修士(人間科学))

- 専門分野: 臨床心理学
- 研究テーマ: 分析心理学、夢分析、箱庭療法、描画法、遊戯療法
- 担当科目: 心理実践実習、臨床心理基礎実習、臨床心理実習
- 主な所属学会: 日本心理臨床学会、日本ユング心理学会、日本箱庭療法学会



清重 英矩 講師
(博士(教育学))

- 専門分野: 臨床心理学
- 研究テーマ: 描画療法の心理療法的意義に関する研究、周術期の心理的ケアに関する研究
- 担当科目: 心理実践実習、臨床心理基礎実習、臨床心理実習
- 主な所属学会: 日本心理臨床学会、日本箱庭療法学会、日本糖尿病医療学会、日本ユング心理学会、日本描画テスト・描画療法学会



区分	授業科目の名称	単位数		配当年次		期間	授業方法	2027年度		2028年度	
		必修	選択	1年	2年			前期	後期	前期	後期
臨床心理学領域	臨床心理学特論Ⅰ(修士論文指導)	4		○		通年	演習	●	●	●	●
	臨床心理学特論Ⅱ(修士論文指導)	4			○	通年	演習	●	●	●	●
	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	2		○		半期	講義	●		●	
	臨床心理面接特論Ⅱ	2		○		半期	講義		●		●
	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2		○		半期	演習		●	●	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2		○		半期	演習		●		●
	臨床心理基礎実習	2		○		通年	実習	●	●	●	●
	心理実践実習Ⅰ	1		○		半期	実習	●	●	●	●
	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)	1			○	半期	実習	●		●	
	臨床心理実習Ⅱ	1			○	半期	実習		●		●
	心理実践実習Ⅲ	1			○	半期	実習		●		●
	心理療法特論		2	○	○	半期	講義		●		●
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		2	○	○	半期	講義	●		●	
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)		2		○	半期	講義	●		●	
	臨床心理学研究法特論		2	○	○	半期	講義		●		●
	臨床精神薬理学特論		2	○	○	半期	講義		●		●
	行動療法特論		2	○	○	半期	講義		●		●
	福祉分野に関する理論と支援の展開		2	○	○	半期	講義		●		●
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2	○	○	半期	講義	●		●	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	○	○	半期	講義		●		●
集団力学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)		2	○	○	半期	講義	●		●		
心の健康教育に関する理論と実践		2		○	半期	講義		●		●	
心理統計法特論		2	○	○	半期	講義	●		●		

国家資格「公認心理師」受験資格取得について

公認心理師受験資格を取得するためには、大学において公認心理師法第7条第1号及び第2号の省令で定める科目を単位修得している必要があります。さらに、学則第15条の規定により修士課程の修了が認められ、下記の公認心理師受験資格科目の必修科目12科目21単位を修得する必要があります。(臨床心理学領域在学生在に限る。)

公認心理師受験資格課程科目

区分	授業科目	配当年次	単位数		授業方法	備考
			必修	選択		
公認心理師受験資格課程科目	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2	2		講義	
	福祉分野に関する理論と支援の展開	1・2	2		//	
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	2		//	
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1・2	2		//	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2	2		//	
	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1	2		演習	
	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1	2		講義	
	集団力学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2	2		//	
	心の健康教育に関する理論と実践	2	2		//	
	心理実践実習Ⅰ	1	2		実習	注
	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)	2	1		//	
	心理実践実習Ⅲ	2	1		//	

(注) 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野の内で3分野以上に関する施設で450時間以上の実習を行う(ただし、医療機関の実習は必須である)。また、担当ケースに関する実習は270時間以上の実習をする(その内で、学外実習での実習は90時間以上実施する)。

「臨床心理士」受験資格取得について

日本臨床心理士資格認定協会認定資格の「臨床心理士」受験資格を取得するためには、下記の臨床心理士受験資格課程科目の必修科目から9科目20単位、選択必修科目群(A群、B群、C群、D群、E群)からそれぞれ2単位以上、計10単位以上、合計30単位を修得する必要があります。(臨床心理学領域在学生在に限る。)

臨床心理士受験資格課程科目

区分	分野	授業科目	配当年次	単位数		授業方法	備考	
				必修	選択			
臨床心理士受験資格課程科目	必修科目	臨床心理学特論Ⅰ(修士論文指導)	1	4		演習	通年	
		臨床心理学特論Ⅱ(修士論文指導)	2	4		//	通年	
		臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1	2		講義		
		臨床心理面接特論Ⅱ	1	2		//		
		臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1	2		演習		
		臨床心理査定演習Ⅱ	1	2		//		
		臨床心理基礎実習	1	2		実習	通年	
		臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)	2	1		//		
		臨床心理実習Ⅱ	2	1		//		
	選択必修科目群	A群	臨床心理学研究法特論	1・2		2	講義	
			心理統計法特論	1・2		2	//	
		B群	乳幼児発達心理学特論	1・2		2	//	
			思春期・青年期発達心理学特論	1・2		2	//	
			教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2		2	//	
		C群	集団力学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2		2	講義	
			犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1・2		2	//	
		D群	精神医学における生と死	1・2		2	講義	
			精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2		2	//	
			ターミナルケア論	1・2		2	//	
		E群	臨床精神薬理学特論	1・2		2	//	
心理療法特論	1・2			2	講義			
		行動療法特論	1・2		2	//		

教員プロフィール

人間科学研究科



渡部 麻美 教授
(博士(心理学))

○専門分野: 社会心理学
○研究テーマ:
・若年者のソーシャルスキルが対人行動に及ぼす影響の検討
・若年者を対象としたソーシャルスキル・トレーニングの実践
・主張性スキルと社会的適応の関連の検討
○担当科目: 人間科学研究法基礎論
○主な所属学会: 日本心理学会、日本社会心理学会、日本教育心理学会、日本パーソナリティ心理学会



尾崎 博美 教授
(博士(教育学))

○専門分野: 教育哲学、教育思想
○研究テーマ: 教育目的論、教育関係論、ケアリング論
○担当科目: 教育思想史特論、教育哲学特論、学校教育と社会、人間科学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、人間科学演習Ⅰ・Ⅱ
○主な所属学会: 教育哲学会、教育思想史学会、日本教育学会、日本教師学学会、日本保育学会

死生学関連分野修了者 主な修士論文題目と論文指導教員一覧

修士論文題目	指導教員
高齢者施設での「死についての対話」 - 介護職員への個別インタビュー調査により、その可能性を考える -	奥山 倫明
グリーフケアとしての内観法 - 「継続する絆」の構築に関する研究 -	奥山 倫明
安田睦彦の自然葬における死生観 - 「墓は心の中に」言説と葬送の自由 -	奥山 倫明
高齢者介護施設で働く介護職員の看取り経験と意識の変容	奥山 倫明

幼児教育・発達臨床学領域修了者 主な修士論文題目と論文指導教員一覧

修士論文題目	指導教員
日英の乳幼児保育における体育的領域のナショナルカリキュラム比較研究 - 保育内容領域「健康」とEYFSの比較から -	塩崎 美穂
1歳児の食事場面にみる保育者との相互行為 - 新年度の子どもの姿に着目して -	西 洋子
幼児教育と小学校教育の接続において躓きを引き起こしやすい価値観の違い - 保育内容領域「言葉」と学習指導要領「国語」のカリキュラムと実践の比較から -	塩崎 美穂
対話型鑑賞とファシリテーション経験による変容+B28 - アートの専門家でない社会人を対象に -	西 洋子
多言語話者の子どもの「ことば」(The Language of Multilingual Children) - トランス・ランゲージング的視点からの探索的研究 - (An Exploratory Study Through the Lens of Translanguaging -)	久保田 まり
里山での地域活動を通じた移住者の変容	西 洋子
年少組の子どもをもつ保護者の子育て意識 - 認定こども園における子育て支援の現状と課題 -	塩崎 美穂
城戸幡太郎の幼児教育論にみる「社会主義」概念の変容 - 「転向」研究からの再考 -	塩崎 美穂

臨床心理学領域修了者 主な修士論文題目と論文指導教員一覧

修士論文題目	指導教員
主観的健康感からみた「水と私」描画の特徴について - 多面的空想特徴質問紙及び境界尺度による検討を通して -	福田 周
ユングのタイプ論からみた優柔不断に関する研究 - バウムテストを用いて -	篠原 道夫
青年期のアイデンティティと親子の葛藤 - 円環イメージ画を通じて -	篠原 道夫
青年期のレジリエンス・オリエンテーションについて - 状況別対人不安に注目して -	篠原 道夫
青年期における友人喪失経験の研究 - 回復プロセスに着目して -	福田 周
Highly Sensitive Person (HSP)とグループワークに対する適応過程との関連について	福田 周
現代青年のインターネット依存について - スマートフォン利用と友人関係・生活習慣・主観的幸福感との関連を通して -	福田 周
箱庭制作プロセスに与える自我同一性確立の影響について	福田 周
不安を不安のままに受け容れること - 箱庭制作を通して -	福田 周

国際協力研究科

国際協力専攻 [修士課程]

本研究科は、社会科学を基盤に、複雑化する国際社会の課題に向き合う研究教育を展開しています。多極化が進む現代では、国家のみならず地域社会や多様な主体の協力が不可欠です。本研究科では、サステナビリティの視点を取り入れ、分野や国境を越えた「協力」を通じて課題解決に貢献できる人材を育成します。

カリキュラムの特徴

基礎共通科目群

大学院での学修に求められるアカデミック・スキルの獲得とともに、研究対象である国際社会を理解するためのオリエンテーションとなる科目群です。基礎科目としては、政治学、経済学、社会学などの専門領域における考え方や分析方法を指導する「社会科学研究手法」、英語の研究論文を読みこなすための「Academic English」が開講されます。

また、国際学科目として「国際関係論」、「国際機構論」、「国際開発協力論」などに加えて、特定の課題やタイムリーなテーマを深く掘り下げる「国際社会ワークショップ」も開講されます。

専門科目群

大学院での研究活動を進めていくためには、専門性を高めるための体系的な学修が求められます。一方で研究関心をひろげつつ、他方で研究テーマを絞り込むという、一見矛盾した取り組みが必要となるわけです。本研究科では、こうした専門的学修や研究活動を、専門科目群にコース制を導入することでサポートします。入学者には、オリエンテーションなどを通じて、以下に掲げる2つのコースいずれかを選択してもらい、計画的な履修を促します。

<サステナブル国際協力コース>

2030年の期限が迫る持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえつつ、国際協力にはその先を見据えた発想が求められています。複雑化する地球規模課題に対し、本コースではサステナビリティを基盤に、分野横断的な視点と協働の力を養います。このコースで提供される「地球環境問題特論」はもちろん、「国際防災特論」、「平和構築・紛争予防外交特論」でも、持続可能性がカギとなります。そのほかにも「地方自治体と国際協力」や「国際保健医療政策特論」などの科目を通じて、SDGs以後の課題にも対応できる実践的な知見を身につけます。

<国際政治経済・地域研究コース>

国際関係で生起する現象を分析する上で学際研究の有効性には定評があります。従来の国際政治学、国際経済学をはじめとする学問領域に精通した教員が、具体的な分析対象への学際的なアプローチを提示します。アジア、アラブ・中東、ヨーロッパ・EU、北アメリカ、アフリカなど地域研究科目だけではなく、「国際安全保障特論」、「難民・移民問題特論」といった注目すべき 이슈、さらにビジネスやメディアに関連する科目も用意していますので、幅広い視野をもって課題を追及することができます。

演習科目

入学後、院生それぞれにアカデミックアドバイザーが指名され、学位取得へ向けた研究方針のアドバイスを受けます。一年次では、指導教員の下で「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を履修し、自らの研究テーマを絞っていきます。さらに二年次以降には「演習

Ⅰ・Ⅱ」で研究の深化と高度化に入ります。

少人数制は本研究科の特長ですが、とりわけ演習科目では、しばしばマン・ツー・マンの指導も行われています。「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」や「演習Ⅰ・Ⅱ」については開講時限を固定せず、指導教員と話し合いながら時間や場所を決める集中講義方式をとっています。これは働きながら学ぶ社会人大学院ならではの仕組みです。

早稲田大学との単位互換制度

2020年4月より本大学院国際協力研究科は、早稲田大学大学院社会科学部研究科修士課程との単位互換制度を開始いたしました。

本大学院国際協力研究科の学生は、早稲田大学大学院社会科学部研究科の地球社会論専攻と政策科学論専攻の授業を履修することができ、取得単位のうち10単位を上限として修了必要単位に加えることができます。

全講義科目ハイブリッド授業

国際協力研究科の講義科目をハイブリッド授業(大学院での対面授業をZOOMによるオンラインで同時配信)で行っています。仕事の繁忙期や諸事情で大学院に通学できない時など、その日の都合に応じて、対面授業かオンライン授業かを選べます。

修士論文または研究成果を選択できます

「修士論文」又は「研究成果(コア・レビュー)」の提出で修士号を得ることができます。研究成果は指導教員が示した書籍リスト(リーディングリスト)から学生が書籍を選び、そのレポート(コア・レビュー)を提出します。例えば4月入学の場合、1年生前期末(7月)、1年生後期末(1月)、2年生前期末(7月)、2年生後期末(1月)の4回提出。最終審査面接に合格することで修士号を得ることができます。

修了に必要な単位は、修士論文提出と同じく、2年間で30単位です。

出願時に研究成果(コア・レビュー)を選択した方は、出願書類の「研究計画書」の提出は不要です。

国際協力研究科科目等履修生推薦入試

入学試験出願時から遡って過去5年間(この5年間は学生募集要項で入試ごとに期間を定めます。学生募集要項を参照してください)に国際協力研究科の科目等履修生またはプログラム履修生として在籍し、国際協力研究科の科目を2科目4単位以上単位修得し、少なくとも2科目の成績が「優」以上だった方は、当該入試を受験することができます。

試験科目は「面接」のみです。筆記試験は免除されます。

国際協力研究科長



河野 毅 教授
Ph.D(政治学,オハイオ州立大学)

- 専門分野**: 比較政治、国連の役割、地球規模課題・国境を越える課題、社会運動
- 研究テーマ**: グローバルに取り組まなければならない多くの課題(麻薬、武器密輸、人身取引などの組織犯罪、テロ、気候変動、公害など)の研究を通じ、対策に取り組む人間一人一人の可能性を追求しています。
- 指導可能なテーマ**: グローバルガバナンス、社会運動の視点から見た上記の課題。
- 担当科目**: 国際機構論、国際社会ワークショップ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: American Political Science Association, American Sociological Association, 比較政治学会、国際安全保障学会、アジア政経学会、Association for Asian Studies

温暖化対策、貧困撲滅、格差解消、戦争と平和など、人類が抱える地球規模課題の解決には多くの協力が必要です。協力しないことが多くの課題を放置しているのです。私たち国際協力研究科では、人類の課題解決に協力できた理由、協力できなかった理由を学術的に考えることを通じ、社会に貢献しています。そのため、幅広い層の皆様の実務に直結するカリキュラムを提供しています。人類が解決すべき課題の解決に向けてどのような協力ができるか、一緒に考えてみませんか？



平体 由美 教授
博士(学術,国際基督教大学)

- 専門分野**: アメリカ史、公衆衛生史
- 研究テーマ**: 20世紀前半アメリカの公衆衛生行政史
- 指導可能なテーマ**: アメリカ政治史、社会史、医療史
- 担当科目**: 公衆衛生史特論、北アメリカ地域特論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: アメリカ学会、社会経済史学会



福田 保 教授
Ph.D(Political Science and International Relations, オーストラリア国立大学)

- 専門分野**: 国際政治学、アジア太平洋の国際関係、東南アジア国際関係
- 研究テーマ**: アジア太平洋における多国間主義・地域制度の動態、東南アジア諸国の対外政策、ASEAN
- 指導可能なテーマ**: アジア太平洋および東南アジアの国際関係、東南アジア諸国の対外政策、東南アジア政治
- 担当科目**: 社会科学研究方法、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 日本国際政治学会、国際安全保障学会、アジア政経学会



田中 極子 教授
博士(学術,国際基督教大学)

- 専門分野**: 国際政治学、国際機構、国際法、軍縮・不拡散
- 研究テーマ**: 国連の集団安全保障、大量破壊兵器の不拡散、新興技術の輸出管理、デュアルユース管理
- 指導可能なテーマ**: 国連の集団安全保障(軍縮・不拡散、PKO、WPS)、輸出管理、新興技術の国際管理
- 担当科目**: 国際法特論、サステナビリティ学、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 日本国際政治学会、日本軍縮学会、安全保障貿易学会他



山本 直子 准教授
博士(社会学,慶應義塾大学)

- 専門分野**: 社会学、移民研究
- 研究テーマ**: 移民政策、貧困学、多文化共生論
- 指導可能なテーマ**: 移民政策、在日外国人の教育、子どもの貧困
- 担当科目**: 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 日本社会学会、関東社会学会、移民政策学会



池田 明史 客員教授
法学士(東北大学)

- 専門分野**: 中東現代政治、紛争研究
- 研究テーマ**: 中東和平プロセス、中東の国際関係
- 指導可能なテーマ**: 現代中東の政治や紛争に関する諸問題、政軍関係などの国際政治的諸問題
- 担当科目**: アラブ・中東地域特論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 日本国際政治学会、国際安全保障学会、英国中東学会



小久保 康之 客員教授
法学修士(慶應義塾大学)

- 専門分野**: 国際政治学、EU・ヨーロッパ政治論
- 研究テーマ**: EU統合の深化と拡大、ヨーロッパ国際政治システムの変容、ヨーロッパ小国の外交、日・欧関係、国際社会の変容、シモーン・ヴェイユ研究
- 指導可能なテーマ**: 国際政治全般、現代ヨーロッパ政治(EU統合、ヨーロッパ各国の内外政策)、日欧関係、国際関係史・外交史
- 担当科目**: ヨーロッパ・EU地域特論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 日本EU学会(理事)、日本国際政治学会、日本政治学会、UACES (University Association for Contemporary European Studies)

教員プロフィール



今野 茂充 客員教授
博士(法学,慶應義塾大学)

- 専門分野**: 国際政治学、安全保障研究
- 研究テーマ**: 国際関係理論(特にリアリズム)、東アジアの安全保障、第一次世界大戦の開戦原因、研究方法論(理論と歴史)
- 担当科目**: 国際関係論
- 主な所属学会**: 日本国際政治学会、国際安全保障学会、IISS、ISA



滝澤 三郎 客員教授
法学修士(カリフォルニア大学バークレー校)
MBA(カリフォルニア大学バークレー校)

- 専門分野**: 移民難民問題、国際関係論、国際機構論
- 研究テーマ**: 日本の難民政策
- 指導可能なテーマ**: 移民難民問題、国際機構論、国際開発問題
- 担当科目**: 難民・移民問題特論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 国際開発学会、日本国際政治学会、国連学会、移民政策学会、政治社会学会



竹下 裕子 客員教授
文学修士(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)

- 専門分野**: 異文化間コミュニケーション、社会言語学、英語教育
- 研究テーマ**: 英語および日本語による国際コミュニケーション、日泰コミュニケーション
- 担当科目**: Academic English
- 主な所属学会**: 日本「アジア英語」学会、一般社団法人 日本外国語教育推進機構 (Japan Council on the Teaching of Foreign Languages: JACTFL)



望月 敏弘 客員教授
法学修士(慶應義塾大学)

- 専門分野**: 近・現代中国政治外交史および日中関係地域研究(中国・台湾)
- 研究テーマ**: 中台関係の戦後史、日中両国の相互認識、中国の改革開放政策の歴史と現状
- 指導可能なテーマ**: 20世紀から現在にいたる中国の政治と外交、台湾および日中関係をめぐる諸問題
- 担当科目**: アジア地域特論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ
- 主な所属学会**: 日本国際政治学会、アジア政経学会



山田 満 客員教授
博士(政治学,神戸大学)

- 専門分野**: 国際関係論、国際協力論、平和構築論、東南アジア地域政治
- 研究テーマ**: 国際社会は、紛争後の国際協力をいかに進めて、平和で安全な社会を構築できるのか、まずは平和構築、その後の国家建設のあり方を現場と理論の両方を研究対象に研究しています。
- 担当科目**: 平和構築・紛争予防外交特論
- 所属学会**: 緊急人道支援学会(会長)、アジア政経学会、日本国際政治学会、アジア・アフリカ研究所、21世紀アジア研究会



吉川 健治 客員教授
文化科学修士(早稲田大学)

- 専門分野**: 国際協力論、国際開発、東南アジア地域研究
- 研究テーマ**: 東南アジアの政治、経済・社会の現状を人々の視点から考える
- 担当科目**: 国際開発協力論
- 主な所属学会**: 日本国際政治学会、国際開発学会、アジア・アフリカ研究所



区分	授業科目の名称	単位数		配当年次		期 間	授業 方法	2027年度		2028年度	
		必修	選択	1年	2年			前期	後期	前期	後期
基礎 共通 科目 群	社会科学研究手法	2		●		半期	講義	●		●	
	Academic English		2	●		半期	講義	●		●	
	サステナビリティ学		2	●		半期	講義		●		●
	国際関係論		2	●		半期	講義	●		●	
	国際機構論		2	●		半期	講義		●		●
	国際法特論		2	●		半期	講義	●		●	
	国際開発協力論		2	●		半期	講義		●		●
国際社会ワークショップ		2	●		半期	講義	●		●		
演 習 科 目	基礎演習Ⅰ(修士論文・研究成果)	2		●		半期	演習	●	●	●	●
	基礎演習Ⅱ(修士論文・研究成果)	2		●		半期	演習	●	●	●	●
	演習Ⅰ(修士論文・研究成果)	2			●	半期	演習	●	●	●	●
	演習Ⅱ(修士論文・研究成果)	2			●	半期	演習	●	●	●	●
専 門 科 目 群	地球環境問題特論		2	●		半期	講義	●			
	国際教育特論		2	●		半期	講義			●	
	企業と開発-ソーシャル・ビジネス		2	●		半期	講義				●
	国際保健医療政策特論		2	●		半期	講義	●		●	
	国際社会保障と国際貢献		2	●		半期	講義		●		
	国際防災特論		2	●		半期	講義		●		●
	公衆衛生史特論		2	●		半期	講義	●		●	
	平和構築・紛争予防外交特論		2	●		半期	講義		●		●
	地方自治体と国際協力		2	●		半期	講義			●	
	ODAと開発		2	●		半期	講義		●		●
	ビジネス-企業と国際協力		2	●		半期	講義				
	国際メディア特論		2	●		半期	講義		●		
	現代経済特論		2	●		半期	講義		●		●
	開発経済特論		2	●		半期	講義				●
	国際安全保障特論		2	●		半期	講義		●		●
	難民・移民問題特論		2	●		半期	講義		●		●
	アジア地域特論		2	●		半期	講義	●		●	
	アラブ・中東地域特論		2	●		半期	講義		●		●
	ヨーロッパ・EU地域特論		2	●		半期	講義	●		●	
	北アメリカ地域特論		2	●		半期	講義		●		●
アフリカ地域特論		2	●		半期	講義	●		●		
特殊 講義	Contemporary Issues A (国際協力特殊講義)		2	●		半期	講義			●	
	Contemporary Issues B (国際社会特殊講義)		2	●		半期	講義	●			

国際協力研究科
紹介動画はコチラ



◇国際協力研究科修士 主な修士論文題目、研究成果(コア・レビュー) 題目と指導教員

	題目	指導教員
修論	Choice of Destination Country of Refugees : Why Asylum Seekers Choose Japan?	滝澤 三郎
修論	女性のエンパワメントにおける仲間の役割 -インド女性自立支援プロジェクトにみる信頼関係醸成の意義-	滝澤 三郎
修論	ミャンマーの村落における教育支援の可能性 -パオ族の「スクール・コミティ・アプローチ」-	滝澤 三郎
修論	ラテンアメリカにおけるCSR活動 -グアテマラ企業の貧困対策プロジェクトの事例から-	小久保康之
修論	在日ミャンマー出身者の起業について -起業を支える社会関係資本とは?-	滝澤 三郎
修論	エジプト、ダミエッタの障害者支援についての考察	池田明史
修論	BOPビジネスをめぐる国際機関とNGOと民間企業の連携の可能性と限界 -「協働」の価値をめぐって-	滝澤 三郎
修論	反移民感情とバイリンガル教育支持の接合 -コロラド州憲法修正第31号提案をめぐって-	平体 由美
修論	安全な水の持続的供給システム -日本とモルディブを比較して-	河野 毅
修論	在留外国人の保健医療アクセスの考察 -国際化する相模原市を例に-	河野 毅
修論	非営利組織の持続可能な運営について -ICTの導入の恩恵と課題-	河野 毅
修論	なぜ在留外国人の子どもの教育は不可視のままなのか -日系ブラジル・ペルー人児童・生徒の教育をめぐる議論と政策の分析-	河野 毅
修論	大量消費時代の牛肉産業の特徴 -見えない化する危険性-	河野 毅
修論	ODA被援助国住民の視点における開発の評価とその検証の課題 -日本による鉄道開発と環境社会配慮-	河野 毅
修論	イクボス概念の構造分析 -現代日本のワークライフバランス-	平体 由美
修論	1920年代アメリカにおけるフラッパーの服装規範 -ジェンダー、階級、メディア-	平体 由美
修論	反移民感情とバイリンガル教育支持の接合 -コロラド州憲法修正第31号提案をめぐって-	平体 由美
修論	K-POPとJ-POPの海外戦略比較 -2018年~2024年における主要8社社長の戦略-	河野 毅
修論	日本の公教育における平和をめぐるたたかい -長野県の高等学校教育を例として-	河野 毅
修論	主導性の観点からみた現代中国の中央・地方関係 -図們江地域開発の国家戦略化を事例として-	望月 敏弘
コアレビュー	世界の事例からみた日本の移民政策の課題の考察	池田 明史
コアレビュー	多様性を尊重した社会構築の実現にむけて -4つのセクターの役割に関する考察-	河野 毅
コアレビュー	日本の安全保障における依存と自律の変容メカニズム	池田 明史
コアレビュー	女性の負担が不可視化されるジェンダー不平等	河野 毅
コアレビュー	プロイセン期と戦後におけるドイツ外交戦術についての考察	河野 毅
コアレビュー	人・水・社会・環境の持続可能な関係性 -水の多様化する役割とプラネタリー・スチュワードシップへの転換-	河野 毅

東洋英和こころの相談室

1996年より開始された臨床心理士養成に関する指定大学院制度を受けて、東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学領域が1種指定校として認定されました。臨床心理士養成校の附属相談室として、翌年の1997年に東洋英和こころの相談室が開設されました。また、2018年には公認心理師養成のための実習機関として承認を受けました。当相談室は公認心理師および臨床心理士養成課程における学内実習機関の役割を担うとともに、一般の方にご利用いただける地域貢献型の心理相談機関として現在まで広く周知されています。

相談室の特徴

面接室は、個別面接室が5部屋、プレイルームが4部屋の構成となっています。プレイルームだけではなく、個別の面接室でも箱庭療法ができるようになっております。またプレイルームにはお子さんの年代等に配慮した遊具等を設置しており、充実した設備を整えています。

開室時間は、平日の場合、火曜日から金曜日の午後2時から午後8時（月曜日は閉室、木曜日のみ開始が午後1時から）、土曜日は午前9時から午後6時となっています。夜間大学院であることの特徴を生かし、仕事や学校が休みの土曜日や、平日でも仕事帰りあるいは学校帰りに利用しやすい時間帯に開室することで、利用者の方の利便性に配慮して運営しています。

相談室スタッフ

相談室スタッフとして、専任教員4名、院生の実習指導を中心に行う講師3名の計7名の指導スタッフと、事務職員1名がおり、院生の実習指導を行っています。

心理面接

相談室では、個人面接による定期的な継続面接を原則としています。電話による申し込みを経て有資格者（公認心理師および臨床心理士）による受理面接を行い、その後に臨床心理学領域の大学院生・特別研究生が面接担当者として教授陣・専門家の指導の下で継続面接を行います。カウンセリング（ことばによる面接）の他に、必要に応じてプレイセラピー（遊戯療法）、箱庭療法、絵画療法などの諸技法を用いています。また、他機関からの紹介により、知能検査、性格検査、発達検査等の施行、心理アセスメントも行っています。



プレイルーム

実習

臨床心理学領域の教育の特徴として、臨床教育の充実があげられます。公認心理師および臨床心理士資格を持つ指導スタッフ7名が、学外実習機関の実習指導者の先生方と連携し、2年間にわたり臨床実習を行っています。必修授業である臨床心理基礎実習（1年次配当）と臨床心理実習（2年次配当）および心理実践実習（1年次および2年次）における実習教育と連動させながら、相談室での学内実習および多領域にわたる実習機関で学外実習が行われています。

***学内実習** 相談室では学内実習を行っています。また、ケースカンファレンスを週1回（木曜日）実施しています。このケースカンファレンスを通して、より多角的な視点をもった臨床力を培います。

相談室事例に関しては、指導スタッフによる面接指導に加えて、外部の専門家にスーパーヴィジョンを受けることもできます。また、『心理相談室紀要』へ事例研究論文を投稿することも可能となっています。

***学外実習** 夜間大学院の特徴を活かして、学外実習機関への長期間実習を行っています。実習機関は、精神科クリニック、精神科病院、総合病院、児童精神科病院、デイケアなどの医療領域や、教育相談センター、適応指導教室などの教育領域、児童養護施設や乳児院などの福祉領域、産業領域および司法領域があります。

実習内容としては、医療機関においては医師の診察の陪席、予診、心理検査の実施、集団精神療法への参加などであり、機関によっては心理面接の実施が加わることもあります。教育機関や福祉関連機関においては、各種グループへの参加やファシリテーター体験、ケースカンファレンス等への参加があります。また、プレイセラピーを担当できる機会のある機関もあります。

どの実習先においても、実習指導者の援助の下で実習に取り組みます。



面接室

大学院図書室(地下1・2階)

大学院図書室は横浜校地・大学キャンパスにある大学図書館の分室として、主に大学院生の研究をサポートする施設です。本館の大学図書館の施設、資料も利用できます。

大学図書館・大学院図書室合わせて図書約38万冊、雑誌約3,000タイトル、データベース、電子ジャーナル、電子ブックを利用できます。また、これまでに本学に提出された修士論文・博士論文も所蔵しています。(博士論文の一部はウェブ上で公開しています)

大学院生は、修了後も大学図書館・大学院図書室の施設、資料を利用することができます。

詳しくは図書館ウェブサイトをご覧ください。

(<https://www.toyoieiwa.ac.jp/daigaku/shisetsu/library/in/>)



開室時間・休室日

開室時間

- 平日：14:00～21:45(通常)
14:00～20:30(休暇中など授業のない日)
- 土曜日：9:00～19:30(通常)
9:00～18:00(休暇中など授業のない日)

休室日

- 日曜日、祝日、創立記念日、クリスマスほか

※変更する場合は図書館ウェブサイトまたは掲示でお知らせします。



修士論文、博士論文

大学院開設時から提出された修士論文(研究成果を含む)、博士論文を図書室に所蔵しています。

人間科学研究科	837本
社会科学研究科・国際協力研究科	211本
人間科学研究科博士論文	11本

(2025年3月時点)

博士論文の一部は「東洋英和女学院大学学術リポジトリ」からインターネット公開しています。



研究活動のサポート

閲覧・貸出・複写など通常の図書館サービスに加え、資料・文献の探し方のガイダンス、論文執筆に役立つ資料の紹介など、研究活動のサポートを行っています。



図書館キャラクター “しおりちゃん”

2014年学部生の応募の中から選ばれました。

本学のシンボル・かえでが描かれた胸のデザインがチャームポイントです。

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

人間科学研究科／国際協力研究科

東洋英和女学院大学大学院は、建学の精神「敬神奉仕」の理念に基づき、キリスト教精神による人間形成を尊重し、専門職業人の育成と、豊かな国際性と広い視野をもつ人材を育成することを教育理念とします。男性・女性を問わず、深い教養を求め、学びを通して与えられた知恵と能力を地球社会に生かし、「隣人」に仕えることを志す人々を受け入れます。

人間科学研究科

人間科学研究科修士課程では、広範な人間科学領域を探究し現代社会の要請に応えるべく、より高度な専門知識と実践力を獲得しようとする意欲・資質を持つ人を積極的に受け入れます。

国際協力研究科

- ・国際社会の平和と福祉の増進を目指し、国際社会が直面する諸問題を認識し、それらの解決と改善の意欲を持つ人を歓迎します。
- ・国際社会の多様性を理解し尊重し、合意を形成したい人を歓迎します。
- ・国際社会とそこに生起する諸問題の研究をとおし、自らの職務をさらに発展、充実させようと志をもつ人を歓迎します。

◆入試日程

2026年度後期～2027年度前期 大学院 入試日程

種別	研究科・専攻・領域	募集人数	出願期間 <消印有効>	試験日	合格発表	入学手続 <消印有効>	入学時期	
2026年度後期	人間科学研究科 人間科学専攻 人間科学領域	若干名	7月10日(金) ～ 7月17日(金)	8月1日(土)	8月5日(水)	8月6日(木) ～ 8月18日(火)	2026年 10月 ※	
	人間科学研究科 人間科学専攻 幼児教育・発達臨床学領域							
	国際協力研究科	若干名						
	国際協力研究科 科目等履修生推薦入試							
2027年度前期 秋季選抜	人間科学研究科 人間科学専攻 臨床心理学領域	8名程度	8月7日(金) ～ 8月18日(火)	一次 8月29日(土) 二次 9月5日(土)	一次 9月3日(木) 二次 9月10日(木)	9月11日(金) ～ 9月24日(木)	2027年 4月	
	国際協力研究科	5名	10月19日(月) ～ 10月26日(月)	11月14日(土)	11月19日(木)	11月20日(金) ～ 11月27日(金)		
	国際協力研究科 科目等履修生推薦入試			11月12日(木)				
	人間科学部卒業生 特別入試	若干名						
2027年度前期 春季選抜	人間科学研究科 人間科学専攻 死生学領域	8名	1月8日(金) ～ 1月18日(月)	2月6日(土)	2月11日(木)	2月12日(金) ～ 2月19日(金)		
	人間科学研究科 人間科学専攻 幼児教育・発達臨床学領域							
	人間科学研究科 人間科学専攻 臨床心理学領域	4名程度	一次 2月6日(土) 二次 2月13日(土)			一次 2月11日(木) 二次 2月18日(木)		2月19日(金) ～ 2月26日(金)
	国際協力研究科	5名	2月1日(月) ～ 2月15日(月)			2月27日(土)		3月5日(金)

※修士課程の人間科学領域教育学関連分野については2026年度後期募集はありません。

※授業開始は9月上旬からになります。

◆入試説明・相談会

入試説明・相談会では大学院の教育研究内容や入試制度等について、研究科、領域、分野ごとに大学院担当教員から詳しくご説明いたします。オンラインでの個別相談も随時実施しております。詳細は大学院ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

研究科	回数	月日	時間
人間科学研究科	第1回	2026年 4月25日(土)	14:00(開始)～15:30 オンライン型
	第2回	2026年 5月23日(土)	14:00(集合)～16:00 来場型
	第3回	2026年 7月 4日(土)	
	第4回	2026年10月24日(土)	
	第5回	2026年12月 5日(土)	
国際協力研究科	第1回	2026年 5月23日(土)	13:00(集合)～15:00 オンライン・来場型 同時開催 ハイブリッド方式
	第2回	2026年 7月 4日(土)	
	第3回	2026年10月10日(土)	
	第4回	2026年12月 5日(土)	
	第5回	2027年 1月23日(土)	

※内容を変更する場合がありますので、大学院ホームページをご確認ください。

◆授業見学週間

当大学院をより深くご理解いただけるよう、実際の大学院の授業に参加していただける機会を設けています。期間中は何科目でも見学ができますので、お気軽にお越しください。詳細は大学院ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

※内容を変更する場合がありますので、大学院ホームページをご確認ください。

授業見学週間		
人間科学研究科 国際協力研究科 《授業公開》	第1回	2026年 5月11日(月)～ 5月16日(土)
	第2回	2026年 6月22日(月)～ 6月27日(土)
	第3回	2026年10月12日(月)～10月17日(土)
	第4回	2026年11月23日(月)～11月28日(土)

◆入試結果(2025年度後期入試、2026年度前期入試)

入試区分	課程	研究科・領域・コース	募集人員	志願者	合格者
2025年度 後期入試	修士	人間科学領域及び幼児教育・発達臨床学領域	若干名	2	2
		国際協力	若干名	3	2
	合計				5
2026年度 前期入試 (秋季選抜)	修士	臨床心理学領域	10名	39	11
		国際協力	5名	2	2
	合計				41
2026年度 前期入試 (春季選抜)	博士後期	人間科学	3名	1	0
	修士	人間科学領域及び幼児教育・発達臨床学領域	12名	7	4
		臨床心理学領域	8名	17	3
		国際協力	5名	13	11
合計				38	18
2026年度 前期入学試験 合計	博士後期	人間科学	3名	1	0
	修士	人間科学領域及び幼児教育・発達臨床学領域	12名	7	4
		臨床心理学領域	18名	56	14
		国際協力	10名	15	13
合計			43名	79	31

◆過去問題

- ・人間科学研究科の過去の入試問題は、大学院事務室にてご覧いただけます。ご希望の方は、大学院事務室までご連絡ください。
- ・国際協力研究科の過去の入試問題はHPよりご覧いただけます。

◆学費等納付金

(単位：円)

納付金内訳	入学手続時納付金	次期以降納付金
入学金(入学時のみ納入)(注1)	300,000	—
授業料(注2)	220,000	220,000
施設設備資金	70,000	70,000
教育充実費	30,000	30,000
学生教育研究災害傷害保険料(注3)	200	0
合 計	620,200	320,000

(注1) 次の該当者は入学金を免除します。
 (1) 本学の大学院修士課程修了者が再度修士課程に入学する場合。
 (2) 本学の学部、短期大学(部)及び短期大学(部)専攻科卒業生。
 (注2) 長期履修学生制度が適用される場合、金額が変わります。
 ※人間科学研究科臨床心理学領域入学者は学外実習費として、年間50,000円を徴収します。
 (注3) 後期入学者は250円徴収します。

◆奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

	貸与月額
第1種(無利子)	修士50,000円、88,000円から選択
第2種(有利子)	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択
授業料後払い制度 (2024年度新設)	授業料(半期220,000円、年間440,000円)を修了後に後払いできる制度です 生活費支援額 月額20,000円、40,000円(受けないこともできます) 修了後、所得に応じて返還額を決めています

◆長期履修学生制度(臨床心理学領域を除く修士課程の方が利用できます)

長期履修学生制度は、職業等に就いているなど、個人の事情に応じて修士課程の修業年限(2年)を超えて履修することができる制度です。

長期履修学生として認められた場合、授業料は2年間の総額をあらかじめ認められた修業年限(最大4年)で除した額と施設設備資金及び教育充実費をそれぞれの学期に支払います。なお、長期履修学生制度を希望する場合は、入学試験の出願書類と共に必要書類を提出し、審査を受ける必要があります。

※授業料の支払い例

(単位：円)

標準年限2年で修了の場合									
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期					総 額
授業料	220,000	220,000	220,000	220,000					880,000
施設設備資金及び教育充実費	100,000	100,000	100,000	100,000					400,000
合 計	320,000	320,000	320,000	320,000					1,280,000
長期履修学生として3年で修了の場合									
	1年目前期	1年目後期	2年目前期	2年目後期	3年目前期	3年目後期			総 額
授業料	146,700	146,660	146,660	146,660	146,660	146,660			880,000
施設設備資金及び教育充実費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000			600,000
合 計	246,700	246,660	246,660	246,660	246,660	246,660			1,480,000
長期履修学生として4年で修了の場合									
	1年目前期	1年目後期	2年目前期	2年目後期	3年目前期	3年目後期	4年目前期	4年目後期	総 額
授業料	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	880,000
施設設備資金及び教育充実費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	800,000
合 計	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	1,680,000

◆科目等履修生

1科目から学べる科目等履修生制度を行っています。両研究科の科目を履修でき（臨床心理学領域および博士課程科目は除く）、その数に制限はありません（演習科目及び実習科目は履修できません）。出願資格は、修士課程出願資格と同じです。

◆国際協力研究科プログラム履修生制度

国際協力研究科には、科目等履修生のほかに「プログラム履修生制度」があります。通常の科目等履修生は、半期6カ月ごとに出願しなければなりません。このプログラム履修生制度を利用すれば、一度の選考で最長2年間履修することができます。

履修期間は、6カ月、1年、1年6カ月、2年の中から選べます。

履修する科目数に制限はありません。

本研究科が指定する「サステイナブル国際協力プログラム」「国際政治経済・地域研究プログラム」のどちらかのプログラムから4科目以上単位認定された方には、修了証 (diploma) を授与しています。出願資格は、修士課程出願資格と同じです。

◆科目等履修生、国際協力研究科プログラム履修生制度共通事項

履修した科目の試験に合格した時は、単位を授与します。科目等履修生として修得した単位は、履修終了後5年以内に本研究科に入学した場合、10単位を上限として修了要件単位として認められます。

履修できる科目は、事前に本大学院ホームページでお知らせします。

本大学院の図書室の利用ができ、図書の貸し出しも受けられます。

通学定期の購入、学割の利用はできません。

●費用 (科目等履修生、国際協力研究科プログラム履修生共通)

登録料	10,000円
受講料	1単位あたり10,000円 (1科目は2単位。受講料は20,000円)

●選考日程 (科目等履修生、国際協力研究科プログラム履修生共通) (選考料 10,000円)

受講期間	研究科	出願期間 <消印有効>	面接日	合格発表	受講手続 <消印有効>
2026年度後期	人間科学研究科 国際協力研究科	7月10日(金)～ 7月17日(金)	8月 1日(土)	8月 5日(水)	8月 6日(木)～ 8月18日(木)
2027年度前期	人間科学研究科 国際協力研究科	2月 1日(月)～ 2月15日(月)	2月27日(土)	3月 5日(金)	3月 6日(土)～ 3月15日(月)

東洋英和女学院大学大学院修士課程のすべてが
専門実践教育訓練指定講座(厚生労働省指定)です。

入学金と授業料の最大80%が雇用保険から支給され学費の負担が軽減されます!

【専門実践教育訓練給付金の対象となる研究科・領域】

研究科・領域	訓練給付金受給金額
国際協力研究科修士課程 国際協力専攻	826,000円
人間科学研究科修士課程 死生学領域	826,000円
人間科学研究科修士課程 幼児教育・発達臨床学領域	826,000円
人間科学研究科修士課程 臨床心理学領域	896,000円

【教育訓練給付金支給の流れ】

1. 大学院へ学費納付後、半期毎に申請・受給
2. 教育訓練経費(入学金、授業料等)の50%が雇用保険から支給
3. 大学院を2年で修了、修士の学位取得
4. 教育訓練経費の20%に相当する額を追加支給
 (受講修了日の翌日から1年以内に被保険者として雇用された方、既に雇用されている方対象)
5. 訓練終了後の賃金が受講開始前の賃金と比較して5%以上上昇した場合、教育訓練経費の10パーセントを追加支給

【専門実践教育訓練給付金をもらえる方】 ★受給資格の有無については、事前にハローワークに照会できます

- 教育訓練給付制度を初めて利用する場合
 大学院の授業開始日の時点で、雇用保険の被保険者だった期間が通算2年以上ある方等
- 会社を退職し、離職している場合
 雇用保険の被保険者だった期間が2年以上ありながらも退職した場合には、離職日の翌日から授業開始日までの期間が1年以内である方等

【授業料等と訓練給付金受給金額の詳細】 ◆臨床心理学領域は学費に実習費が含まれるため、受給合計金額は896,000円です

学費納付	項目	学納金の金額		申請時期(受給)	訓練給付金受給金額(雇用保険より)
1年生 4月	入学金	300,000円	620,000円 (合計)	1年生10月	260,000円 (学費納付後毎に申請・受給)
	授業料(1年前期)	220,000円			
	教育充実費および施設設備資金(1年前期)*	100,000円			
1年生 10月	授業料(1年後期)	220,000円	320,000円 (合計)	2年生4月	110,000円 (学費納付後毎に申請・受給)
	教育充実費および施設設備資金(1年後期)*	100,000円			
2年生 4月	授業料(2年前期)	220,000円	320,000円 (合計)	2年生10月	110,000円 (学費納付後毎に申請・受給)
	教育充実費および施設設備資金(2年前期)*	100,000円			
2年生 10月	授業料(2年後期)	220,000円	320,000円 (合計)	修了後の4月	110,000円 (学費納付後毎に申請・受給)
	教育充実費および施設設備資金(2年後期)*	100,000円			
修了後	修了後に申請・受給	—	—	修了後の4月	236,000円 (追加支給)
—	総合計	—	1,580,000円	—	826,000円

* 教育充実費および施設設備資金は、訓練給付金の支給対象ではありません

★給付金の受給は、本課程を2年間で修了した場合に限られます。長期履修学生には適用されません。

★教育訓練給付金については、厚生労働省のホームページをご参照ください。

★訓練終了後に賃金上昇があった場合の追加支給10%については上記表では考慮していません。

社会人・大学新卒者の両方を対象にした男女共学の大学院

本大学院は男性・女性を問わず、社会人に学びの場を提供し、わが国の社会・経済における価値の多様化、高齢化、国際化の急速な発展に対応できる高度な知識と幅広い視野をもった、問題解決型の職業人育成を目標としています。

セメスター制(学期制)の導入

履修科目を多様化して研究テーマに対する広い視野からのアプローチを可能にするために、セメスター制を実施しています。これによって4月入学・3月修了だけではなく、10月入学・9月修了も認められるので、有職者は職場の事情に合わせて入学時期や修了時期を選ぶことができます。ただし、人間科学研究科臨床心理学領域は1年単位の科目があるため、4月入学のみ行っています。

平日夜間と土曜日に授業を開講

曜日	時限	授業時間
月曜日～金曜日	6限	18:30～20:00
	7限	20:10～21:40
土曜日	1限	9:00～10:30
	2限	10:40～12:10
	3限	13:00～14:30
	4限	14:40～16:10
	5限	16:20～17:50
	6限	18:00～19:30

※臨床心理学領域では、木曜日15時20分から20時まで必修の授業が行われます。この間17時から20時(21時40分の場合あり)までのケースカンファレンスへの出席が院生に義務付けられています。その他の平日(1年生は週1日、2年生は週2日)に学外実習を行っています。

2026年度時間割は
こちら



在学生・修了生の声



アットホームで手厚いサポート

少人数制の大学院で、学生と教員の距離がとても近いのが本学の特徴。なんでも相談できる関係にあります。論文指導は個別指導が中心。学生の時間に合わせて、指導時間を決めて対応しています。男性、女性問わず、学部からの進学、現役の社会人、定年後の方まで幅広い年齢層で、様々な業種・職種の方がお互いに新たな刺激を受けながら、研究活動を進めています。

交通至便な環境・充実した施設

六本木駅(日比谷線、大江戸線)と麻布十番駅(南北線、大江戸線)の2駅が利用でき、通学にはとても便利な立地です。都心にありながら、大学院周辺は閑静な文教地区になっています。

平日の授業は夜間ですが、院生研究室やコンピュータ室、一般教室は9時から21時45分(夏季・春季休業中は9時から21時まで)、土曜日は9時から20時まで利用できます。

一人にひとつの個人ロッカーも完備しています。

収容定員

研究科	専攻	修士課程	
		入学定員	収容定員
人間科学研究科	人間科学専攻	20名	40名
国際協力研究科	国際協力専攻	10名	20名
合計		30名	60名

修了要件

修士課程の修了要件は、両研究科共、修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は研究成果の審査及び最終試験に合格することです。

人間科学研究科臨床心理学領域は、修士論文の作成が必須であり、研究成果の選択はできません。

授与する学位

研究科	専攻	修士課程
人間科学研究科	人間科学専攻	修士(人間科学)
国際協力研究科	国際協力専攻	修士(社会科学)

東洋英和女学院大学大学院

沿革

東洋英和女学院は、1884年にカナダメソジスト教会の婦人宣教師により、キリスト教精神に基づく女子の教育機関として設立されて以来、一貫してわが国の女子教育に重きをなしてきた。

戦後は、わが国教育水準の高度化を反映して1950年に東洋英和女学院短期大学（1995年に大学短期大学部に名称変更し、1998年に廃止）を設立し、1989年に人文学部人間科学科・社会科学科からなる東洋英和女学院大学を設立した。1995年に人文学部を廃止、人間科学部人間科学科と社会科学部社会科学科の2学部へ改組転換。1997年に人間科学部に人間福祉学科を増設した。2001年に社会科学部社会科学科を国際社会学部国際社会学科に名称変更。1993年に人間科学研究科人間科学専攻および社会科学研究科社会科学専攻からなる大学院修士課程を設立した。2002年には人間科学研究科に博士後期課程を設置。さらに2003年、人間科学研

究科修士課程に「幼児教育コース」を開設し、社会科学研究科社会科学専攻は国際協力研究科国際協力専攻に名称変更した。2018年、大学院開設25周年を迎えた。2020年、人間科学研究科人間科学専攻修士課程は、人間科学領域、臨床心理学領域、幼児教育・発達臨床学領域の三領域体制となった。2020年、国際協力研究科にサステイナブル国際協カコースと国際政治経済・地域研究コースを設置した。

2027年、人間科学研究科人間科学専攻修士課程は、死生学領域、幼児教育・発達臨床学領域、臨床心理学領域の三領域となった。

学院の沿革に一貫して流れているのは、キリスト教精神による人間形成を重んじ、「敬神奉仕」の標語のもとに、豊かな国際性と広い視野をもつ人材を育成するという教育理念である。

Access & Map



- ① 東京メトロ日比谷線をご利用の場合「六本木駅」下車、3番出口から徒歩10分
- ② 都営大江戸線をご利用の場合「麻布十番駅」下車、7番出口から徒歩5分
- ③ 東京メトロ南北線をご利用の場合「麻布十番駅」下車、5a番出口から徒歩7分





東洋英和女学院大学大学院

〒106-8507 東京都港区六本木5-14-40

TEL.03-3583-4031(大学院事務室)

FAX.03-3583-3097(大学院事務室)

E-mail daigakuin@toyoeiwa.ac.jp

事務取扱時間 月曜～金曜14:00～21:00 土曜9:00～17:30